

第24回全国大会報告

研究発表企画委員会委員長 清水勝公

2020年度第24回海洋深層水利用学会全国大会が2020年10月29日(木)に開催されましたことを報告します。

本年度は例年と異なり、新型コロナウイルス感染拡大を防止する目的から、大会初めての試みでありますWeb会議システムを利用した開催となりました。

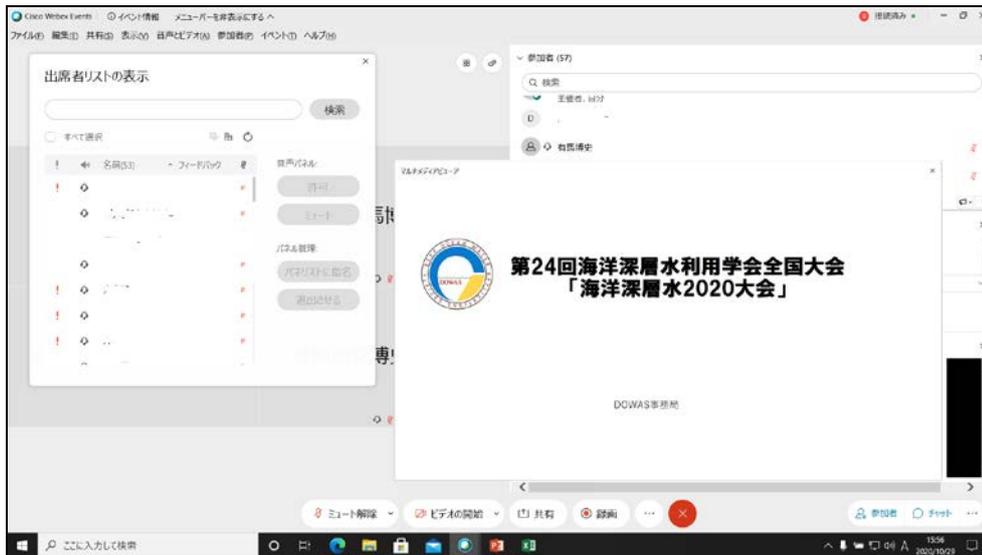
参加状況は会員65名、非会員6名、学生4名、総計75名の参集を得て実施されました。なお、海外からの参加者は台湾:1名、マレーシア:1名の参加を頂きました。

研究発表者数に関しましては一般研究発表が19題、また、利用促進委員会よりポスター発表で1題、計20題の投稿発表がされました。投稿状況に関しましては日台韓の学会交流の関係もあり台湾から2題、韓国から1題と例年と同様に国外からの発表も頂くことができました。また、発表テーマにつきましては深層水の利活用に関する研究成果に加えまして、新型コロナウイルス社会生活に対する海洋深層水の係りや活用の可能性に関する報告もあり、非常に多分野にわたる研究発表であったと思います。なお、研究発表持ち時間は15分(従来発表時間+2~3分)、質疑はメールにより後日対応としましたが全体的にはスムーズに行われたものと、個人的には評価しています。

全国大会をWebで開催するに当たりましては研究発表者に対しまして録画取りの挑戦もお願いしました。また、新会長に開会挨拶、新副会長に閉会挨拶の録画取りを行って頂き、加えて本学会事務局(佐賀大学)にはWeb放映を担って頂きました。開催側責任者として感謝の一語に尽きます。この紙面をお借りしましてお礼させていただきます。



*ログイン画面



* Web 会議画面